

優秀賞

ドーチカのエプロン

かねことしこ(ペンネーム)様

小花柄のオレンジ色のエプロンを、最近、タンスから取り出して、よく料理する。このエプロンは、四十年前に、ドーチカで二枚が三千円で買ったものだ。

私が中学一年生の時、母はあと一時間、手術が遅れたら、生命が助からないほどの重病になった。私は、一生懸命いい子になって、母に長生きしてほしいと、このエプロンをつけて、家事をするようになった。

父と小学生の妹の三人で、ドーチカを歩いていた時、私が、そのドレスのようなエプロンがほしいと言って、父に買ってもらったエプロンで、中学生の私は、このエプロンで料理の修業をした。

母ももう八十歳を過ぎ、父はガンになった。私は思い出のエプロンを取り出して、料理にはげんでいる。

つらい気持ちの子どもが、笑顔になれるドーチカであり続けてほしいと願っている。